

令和元年 7 月 市長定例記者会見の要旨

■議題

1. 都市づくりプロジェクトの取り組みについて

〔市長〕資料に基づき、概要説明

〔記者〕パブリックコメントの時期は。

〔市長〕8月から9月と考えている。

〔森副市長〕自然災害が多い時期を避けてやっていきたい。

〔市長〕慎重に審議してパブリックコメントを行っていきたい。

〔記者〕市街化調整区域の開発制度の緩和と考えていいのか。区域指定をするイメージが。

〔市長〕最終決定はしていないが、西鉄やJRの駅などを中心にその周辺を緩和する。

〔記者〕特定用途誘導地区の導入で、他の自治体では病院などを緩和しているが、どのような狙いで運用していくのか。

〔市長〕これから市をいかに発展させてくのか、均衡ある発展を成し遂げるためのものであり、病院など個別の施設があるから緩和するわけではない。まずは交通の要所である駅周辺の開発制度の緩和を考えている。

〔記者〕特定用途誘導地区では高い建物が建てやすくなるなどあろうが、狙いは。

〔市長〕市街化調整区域における緩和であり、現在、農地や田畑で利用制限があるところを住宅として開発が可能になる。雑種地など開発で、道路を利用した土地利用ができ、宅地分譲などができるようになる。4町合併後の都市計画のあり方で、医療、集合住宅、事務所、店舗がある中で、将来の久留米市の工業、商業、農業、防災、居住といった視点から、地域の特性を生かした都市づくりを進めるために、市全体の都市計画のあり方を検討していく。具体的にはこれからである。

〔森副市長〕「久留米市土地利用誘導方針」の中では、特に開発制度の緩和がメインになるが、今後土地利用誘導方針を最終的にまとめる中で、用途地域の見直し、特定用途誘導地区の導入がどの程度になるか決まっていく。今の段階では決まっていない。

〔記者〕大善寺、荒木などを念頭においているのか。

〔市長〕久大本線、JR鹿児島本線、西鉄などの駅を想定しており、大善寺、荒木が先になるかと考えている。

〔記者〕条例改正のイメージは、名称のイメージは

〔國武総合政策部長〕今ある条例を見直し、改正するイメージになる。

〔森副市長〕今の条例は、駅周辺などエリアの指定がなく、条件を満たせばどこでも建

てられるといったものである。コンパクトシティ、コンパクトネットワークという考え方のもと、2年前に「立地適正化計画」を作ったが、コンパクト化をより実現できるように、条例を作ってよりメリハリのあるまちづくりをやっていく。

【記者】パブリックコメントを実施する際に、都市計画マスタープランや土地利用誘導方針の修正案や新たな方針案などを出すのか。

【森副市長】都市計画審議会の意見も頂き進めていく。

2. 市政の動き

(1) 久留米の特産品の販売戦略について

【市長】資料に基づき、概要説明（質疑なし）

(2) モバイル端末で観光案内を可能に

【市長】資料に基づき、概要説明

【記者】インバウンドに向け、無料wi-fiの導入や促進はどうなっているか

【市長】JR久留米駅周辺から西鉄久留米駅周辺の間は全て無料wi-fiになっている。日本の場合は、登録しないと活用できず、その都度登録しないといけなかった。昨年から一度の登録で福岡市でも久留米市でも使えるように改善を図った。今後はネット上位に上がってくる市内の観光地にも増やしていきたい。

3. その他

(1) 祭り露店商からの暴力団排除の取り組みについて

【市長】資料に基づき、概要説明（質疑なし）

～予定議題 終了～

【記者】アメリカでキム・カーダシアン氏が補正下着を「キモノ」という名称にした件で、京都市では抗議文を検討しているようだが、久留米絣やキモノプロジェクトを応援する中で、どう考えているか。抗議文の予定は。

【市長】状況は承知しているが、具体的な行動はとっていない。着物は日本文化の代表であり、別の目的に誘導するための商標登録は遺憾である。キム氏の意図が分からないので、軽々に批判することはできないが、着物が持つ文化、艶やかさ、美しさがマイナスのイメージのなるのは、懸念すべき由々しき問題である。久留米市として即決できないが、商標差し止めなどは、積極的に介入していくつもりはない。抗議文など、市長会などで参加を呼びかけがあったら前向きに考えていく。

【記者】キモノプロジェクトは自民党・公明党に陳情に行ったのか。

〔市長〕高倉理事長・キモノプロジェクトメンバーと一緒に、当時の桜田オリンピック担当大臣に直接会いに伺った。他にも、外務省や文化庁の関係者にも伺った。福岡県や県議の議員団にも要請をしている。

〔記者〕補助金は出しているのか。

〔市長〕キモノプロジェクトには、久留米市も協賛しているものもある。着物が100点完成した時にシティプラザで開催したお披露目会は、市も支援している。また、来年5月の完成会でも支援を予定している。8月にキモノプロジェクトがTICAD（アフリカ開発会議）に参加するときには、久留米ももしっかり宣伝していく。

〔記者〕7月1日から一部施行された「健康増進法」で、久留米市は敷地内の全面禁煙ではなく、屋外での特定喫煙所を設けているが、改めて市長の考えは。

〔市長〕市議会でも健康増進法と関連した質問があったが、質問者と同じ方向性であるというコメントを出した。屋外では、全て禁煙という考え方もあるが、管理された所で吸って、周りへの迷惑をかけないのであれば、全面的に禁止するものでもない。たばこ税も市の財源でもあり、バランスが大事だと考えている。近隣市町村の状況を見ながら、慎重に対応していきたい。

〔シティプロモーション課：くるっば ゆるキャラグランプリのPR〕